

甲斐市 議会だより



やはたいぬ



甲斐市マスコットキャラクター

『どこまで届くかな』

平成31年3月2日
旧松島保育園

3月に閉園した松島保育園で、園舎や地域のみなさんに感謝を伝えようと「ありがとう さようなら会」が開催されました。

今号の見どころ

第1回定例会	2ページ
公開します議員の賛否	11ページ
ここが聞きたい 一般質問	12ページ
市民と議会の対話集会を開催	20・21ページ
パブリックコメントを募集します	23ページ
市民の声・議会傍聴記	24ページ



KAI City



第1回定例会では、条例の改正などについて審議を行いました。その中で、皆さんの生活に身近なものをピックアップしてお知らせします。



条例

竜王駅前広場の設置及び管理に関する条例の一部改正の件を可決 塩崎駅南口と北口の駅前広場が完成

■条例改正の内容

塩崎駅周辺整備が完了するのに伴い、塩崎駅南口駅前広場と塩崎駅北口駅前広場を加えるため、所要の改正を行うものです。

●主な質疑

Q これまで塩崎駅を管理する条例はなかったのか。

A これまでは、駅前広場はなかったため、塩崎駅周辺整備の完了に伴い、「竜王駅前広場の設置及び管理に関する条例」に塩崎駅の駅前広場を加え、条例名も「甲斐市駅前広場の設置及び管理に関する条例」に改正する。



塩崎駅北口駅前広場

甲斐市竜王中部公園セミナーハウス条例の一部改正の件を可決 使用料を改正

■条例改正の内容

使用料について、類似施設である「敷島総合文化会館」および「双葉ふれあい文化館」と同様の取り扱いとすることが適切であることから所要の改正をおこなうものです。

●主な質疑

Q 使用料が2倍になる営利目的の利用とは。

A 例えば、民間のダンス教室や音楽教室などが行う集客イベントなどが考えられる。



竜王中部公園セミナーハウス

●使用料

時間区分	午前8時30分 から 正午まで	午後1時 から 午後5時まで	午後6時 から 午後10時まで	午前8時30分 から 午後10時まで
講 堂	2,000円	2,000円	2,000円	6,000円
研修室 1	500円	500円	500円	1,500円
研修室 2	500円	500円	500円	1,500円
研修室 3	500円	500円	500円	1,500円
研修室 4	500円	500円	500円	1,500円
和 室	500円	500円	500円	1,500円
料理教室	1,500円	1,500円	1,500円	4,500円

備考

- 1 冷暖房利用の場合は、施設使用料の額に100分の30を乗じた額を加算する。
- 2 利用時間は、準備、片付け、清掃等の所要時間を含むものとする。
- 3 利用者が入場料その他これに類する料金を徴し、又は営利を目的とする場合の使用料は、施設使用料の額に100分の200を乗じた額とする。



市政方針を説明する市長



創甲斐教育推進事業「やはいぬくん・子どもあいさつ運動・字をおぼえようキャンペーン」

施政方針

平成31年度 市長施政方針 第2次甲斐市総合計画を見直し、後期基本計画を策定

平成31年 第1回定例会

定例会のあらまし

平成31年第1回定例会は、2月27日から3月22日までの24日間の会期で開かれました。今定例会では、市長から施政方針、当初予算、条例改正および補正予算などの議案が提出され、審議の結果、全て原案どおり可決されました。また、14人の議員から一般質問が行われ、定例会の様子は、議会ホームページで録画映像を配信していますので、ご視聴ください。

■施政方針要旨

今定例会に提出した、平成31年度一般会計当初予算などの主な施策の概要を、説明するとともに、所信の一端を述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をいただきます。本年4月30日、天皇陛下が御退位され、翌5月1日に皇太子殿下が御即位される。私の施政方針も、新たな元号、新たな時代の幕開けを前に、平成最後となるものである。

さて、新たな元号に代わる本年は、本市にとって市制施行15周年を迎える年でもある。平成16年9月に、旧3町が合併して生まれたこの甲斐市は、議員各位をはじめ、市民の皆様の御理解、御協力をいただきながら、今日まで発展してきた。この場を借りて、心からお礼を申し上げるとともに、更なる発展のため、皆様と、しっかりと手を携えて市政運営を行っていきたく考えているので、一層のご支援をいただけるよう、お願いする次第である。更に本年は、市政運営の総合的な指針である第2次甲斐市総合計画の見直しを行い、後期基本計画を策定する。平成28年度を初年度とした、この総合計画に基づき、各施策を展開してきたが、計画期間の中間年を迎えるにあたり、社会情勢に、適切に対応しつつ、本市の将来像である「緑と活力あふれる生活快適都市」実現のため、知恵と工夫を一層凝らし取り組んでいく。

平成31年度の予算編成については、第2次甲斐市総合計画を踏まえて、政策課題の着実な推進と、健全財政の堅持を基本に「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現及び「創甲斐教育」の一層の推進に向け、施策の選択と集中を図ったところである。予算総額は、一般会計、259億1千400万円、特別会計、152億7千321万円、水道事業会計、11億9千24万4千円、総額は、422億9千645万4千円である。

平成31年度
当初
予算

緑と活力あふれる生活快適都市の実現に向け施策の選択と集中

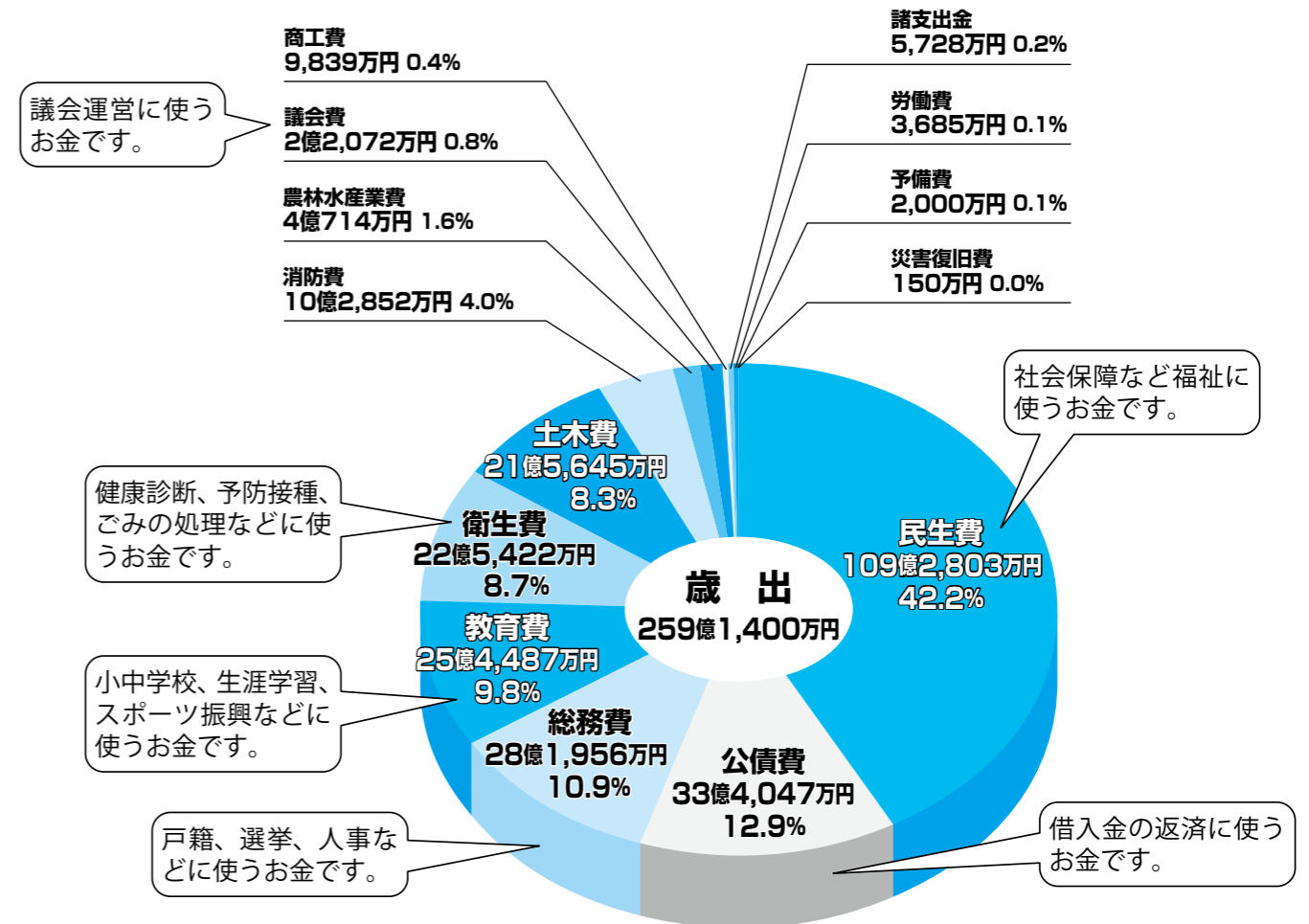
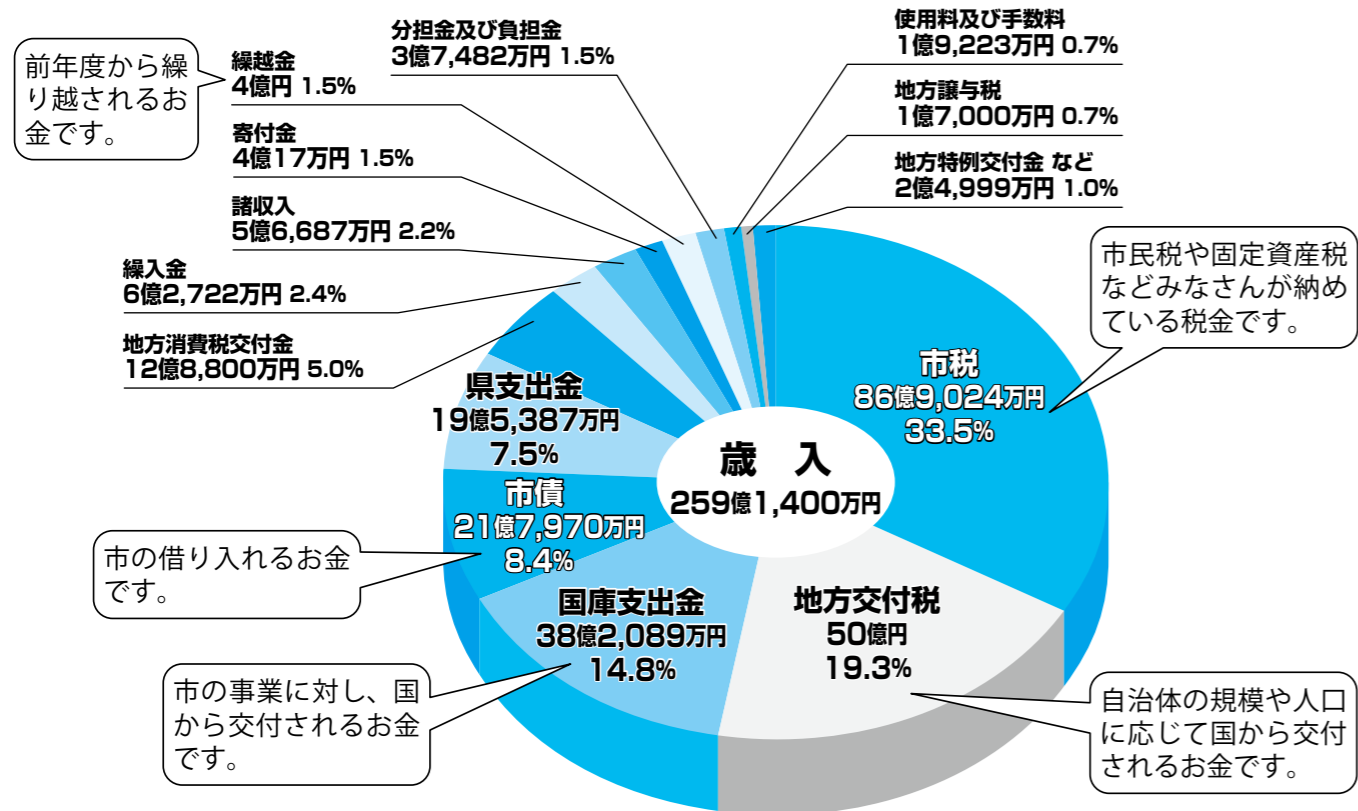
一般会計予算 市制施行以来 最大規模 259億1,400万円を可決



平成31年度 一般会計当初予算の概要は

平成31年度一般会計当初予算は、予算審査特別委員会で審査後、討論の末、可決となりました。(P6～8に関連記事)

予算の特徴としては、平成30年度比8億7,800万円(3.5%)増の259億1,400万円となり、平成16年の市制施行以来、最大規模となりました。自立支援給付や生活保護などの社会保障費が増大していることに加え、双葉西保育園の園舎建設や上八幡公園(仮称)の整備事業などの大型事業が押し上げています。



私は賛成です。

賛成討論
滝川 美幸 議員

平成31年度一般会計当初予算は、増加する社会保障経費への柔軟な対応、老朽化した双葉西保育園の建替えなど、将来の市民生活の安定に向けたまちづくりにつながる予算であると高く評価できる。

総じて、平成31年度の一般会計予算は、政策課題の着実な推進と健全財政の堅持を基本に、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現と「創甲斐教育」の推進に向け、創意工夫のある予算であると判断するところである。市制施行15周年を迎える年度にあたり、より一層、質の高い効果的・効率的な行政サービスの提供に努めるよう期待し、賛成討論とする。

私は反対です。

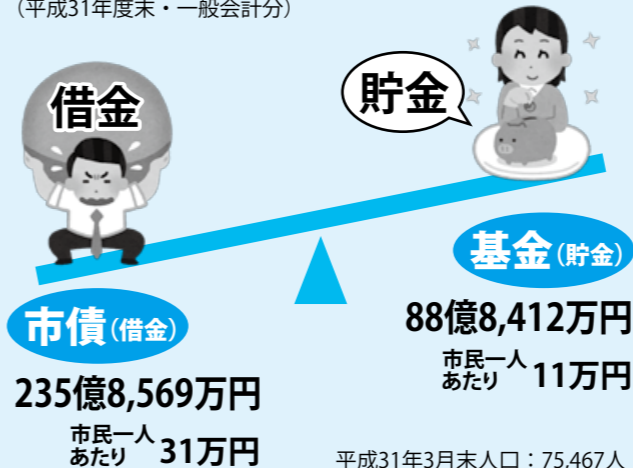
反対討論
松井 豊 議員

普通会計の主要指標は概ね良好で、医療・福祉・教育への一定の配慮は評価する。しかし、歳入では、消費税納税分130億円に対し交付金が12億8千万円しかなく、経済減退局面での消費税増税分の計上、サテライト双葉の公営賭博売上金の納入は納得できない。

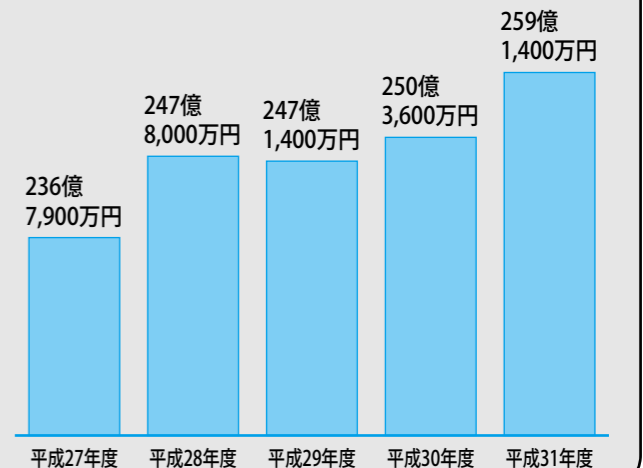
歳出では、行政サービスの根幹をなす正規職員の人件費が県内最下位クラスであること。バイオマス産業都市推進事業の、エネルギー交換率(発電・排熱利用)が低く、燃料木材の確保が不透明のままであること。緑化センター跡地利用事業はもつと市民の意見を聴取して、市民目線で見直すべきこと。また年度末に見込まれる36億円の財政調整基金を、高校生までの医療費窓口無料化、学校給食費の負担軽減等にあてるべきです。

市債(借金)と基金(貯金)の見込み

(平成31年度末・一般会計分)



一般会計当初予算の推移



今年の予算のなかで、
新たに始める
取り組みなど注目事業を
集めてみました。



小学校施設整備費 1億 6,474万円

竜王北・竜王西小学校のプール改修工事など



公園整備事業 2億 215万円

竜王地区に上八幡公園（仮称）を整備する



緑化センター跡地活用事業 3,237万円

県緑化センター跡地を公園と美術館の機能を持つ施設として整備するため、事業化支援アドバイザー業務委託などを行う。



風しん予防接種費用助成事業 2,016万円

接種の機会がなかった男性や妊娠を希望する女性などを対象に風しんの予防接種への補助を行う。



被災者支援システム導入事業 433万円

大規模災害時の被災者情報等を管理するシステムの導入事業



保育園建て替え事業 2億 4,597万円

老朽化している双葉西保育園の園舎を近隣に移転して建て替える。



バイオマス産業都市推進事業 3,003万円

木質バイオマス発電所の建設に向けて、用地測量や不動産鑑定などを行う。

今年度の注目事業を

議会がチェック!!

決算審査特別委員会の要望は?

昨年9月の決算審査特別委員会において、平成31年度当初予算に向けて、要望した内容について確認しました。

- 要望1** **甲斐市魅力情報発信事業について**

ふるさと応援寄附金事業などにおいて、広告費用などが増額されている。
- 要望2** **高齢者社会活動推進事業の推進について**

高齢者と子どもの帰り道ふれあい事業が増額されている。
- 要望3** **マンホールトイレの計画的整備について**

平成31年度以降に下水道管路の耐震化を行い、その後、竜王西小学校、双葉中学校に整備を計画している。

平成31年度 当初予算会計別予算額

△はマイナス

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	259億1,400万円	250億3,600万円	8億7,800万円	3.5
国民健康保険特別会計	71億7,936万円	74億8,250万円	△3億 314万円	△4.1
後期高齢者医療特別会計	7億7,358万円	7億2,233万円	5,125万円	7.1
介護保険特別会計	48億3,890万円	44億5,827万円	3億8,063万円	8.5
介護サービス特別会計	1,239万円	1,042万円	197万円	18.9
住宅新築資金等貸付事業特別会計	93万円	93万円	0円	0.0
簡易水道事業特別会計	9,186万円	9,294万円	△108万円	△1.2
地域し尿処理施設特別会計	1,471万円	1,537万円	△66万円	△4.3
農業集落排水事業特別会計	1,823万円	1,256万円	567万円	45.1
下水道事業特別会計	23億2,167万円	23億7,391万円	△5,224万円	△2.2
合併浄化槽事業特別会計	2,159万円	2,938万円	△779万円	△26.5
水道事業会計	11億 924万円	11億1,719万円	△795万円	△0.7
総合計	422億9,646万円	413億5,180万円	9億4,466万円	2.3

補正予算
人事

平成30年度補正予算（第5号）

保育所費などの 総額2億2,732万円
増額予算を可決



一般会計補正予算（第5号）は、地方交付税、分担金及び負担金などを財源に、基金費、公債費、生活保護費の増額などの補正予算が提出され、採決の結果、全会一致で可決しました。

●歳入（財源） ※△は減額

項目	金額
地方交付税	5億7,428万円
分担金及び負担金	495万円
財産収入	331万円
繰入金	121万円
寄附金	10万円
諸収入	△378万円
県支出金	△544万円
国庫支出金	△1,741万円
市債	△3億2,990万円

●歳出（使いみち） ※青字と△は減額

項目	おもな事業	金額
諸支出金	財政調整基金積立、公共施設等整備基金積立	2億7,353万円
公債費	元金、利子	4,304万円
民生費	生活保護費、保育所費	3,385万円
農林水産業費	土地改良区施設改修事業、農業委員会費（委員報酬）	318万円
災害復旧費	農業用施設災害復旧費	116万円
衛生費	竜王・敷島保健福祉センター事業（光熱水費） やすらぎ聖苑管理費	△225万円
総務費	市議会議員選挙執行事業、国際交流事業	△935万円
教育費	図書館業務電算事業、給食センター運営費	△1,531万円
土木費	幹線道路整備事業（新町本線道路改良事業） 下水道事業特別会計繰出金	△1億53万円

主な補正予算事業を紹介します

●保育所費 【321万円の増額】

平成31年度入園申し込みにおいて、受け入れ可能人数以上の申し込みがあったため、4公立保育園（竜王北、竜王東、竜王中央、双葉西）において消耗品、備品購入費、工事請負費を増額するものです。

定例会人事

副市長及び教育長が変わります。
次の案件について、審議しました。

案件	名前（元職）	議決結果
副市長の選任の件	興石 春樹（企画政策部長）	同意
教育長の任命の件	三澤 宏（教育部長）	同意

平成30年度一般会計補正予算（第6号）

双葉東・西小学校及び双葉中学校の
冷暖房設備入れ替え工事費など
総額2億2,669万円増額予算を可決

小学校及び中学校施設整備費などの一般会計補正予算（第6号）が定例会最終日に提出され、採決の結果、全会一致で可決しました。

予算
審査

平成31年度 予算審査特別委員会レポート

どう使う？ 新年度予算

予算を
徹底チェック

当初予算の審査は、委員21人による予算審査特別委員会（金丸幸司委員長、横山洋介副委員長）を設置し、3月11日から18日までの間、延べ5日間審査を行いました。そのうち一般会計予算にかかわる質疑の一部を抜粋してお伝えします。



予算審査特別委員会の様子

- Q 市民相談と法律相談、消費生活相談の件数は。
A 平成31年2月末までで、市民相談は、8件、法律相談は、50件、消費生活相談は、198件の相談があった。
- Q コンビニエンスストアを利用して交付した印鑑登録証明書はどれくらいか。
A 平成31年2月末までの9か月間で、928件を交付している。

- Q 生活困窮世帯等の子どもの学習・食糧支援事業の内容は。
A 中学校就学援助奨励費を受けている中学3年生を対象に、平成31年8月から2月までの間、学校の最寄り公民館で、学習及び軽食の支援を行う事業である。
- Q 甲斐市版ネウボラ事業、日帰り型・宿泊型産後ケア事業等の予算額の内訳は。
A 日帰り型は、318万9千円、宿泊型産後ケア事業は、243万8千円、ネウボラ事業推進協議会等が33万2千円である。



甲斐市版ネウボラ事業にこここまルーム

- Q 勤労者生活安定資金預託金とは。
A 対象者は1年以上市内に在住し、1年以上同一職場勤務、年収150万円以上の方で、100万円を限度額とし償還期間5年以内で生活資金等の貸付けを行う制度である。
- Q 急傾斜地崩壊対策事業の平成31年度の計画箇所は。
A これまでに5箇所実施し、平成31年度は、亀沢の中村地区2箇所を行う予定である。
- Q Jアラートシステム配信連携対応委託とは。
A Jアラートを利用して発信する防災情報を市のホームページに即座に掲載できるようにするための委託経費である。
- Q 創甲斐教育推進事業の検証は。
A 平成31年度は創甲斐教育推進大綱の最後の年度となる。平成31年度に新たな計画を策定するにあたり、全ての事業の検証を行い、次期計画を策定する。



平成30年度から配られている漢字ハンカチ

平成31年第1回定例会 議案審議結果

○…賛成 ×…反対 欠…欠席

Table with columns for bill number, name, date, result, and 26 council members (横山洋介, 滝川美幸, etc.).

※議長（長谷部集）は可否同数以外は採決に加わらない。

議案を チェック 委員会レポート

今定例会における各常任委員会での議案審査の質疑を抜粋してお伝えします。(3月5、6日開催)

委員会

総務教育常任委員会

条例 甲斐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正の件

概要：再任用職員の経験や能力をより一層業務に反映できるように、1日の勤務時間を現在の6時間から7時間30分するなど、所要の改正をするもの。

Q 再任用職員の定員適正化計画での取り扱い。

A 正規職員は、7時間45分であり、再任用職員は、7時間30分となり、定員適正化計画には、換算されない。

条例 甲斐市職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正の件

概要：地方公務員法の一部改正に伴い、分限に関する手続き及び効果について、降給（降格と降号）という規定を追加するため、所要の改正をするもの。

Q 降号の事由とは。

A 能力は持ち合わせているが、勤務成績が悪かった場合に給与の減額となる。

Q 職員自身から降号の申し出はできるのか。

A 降任、降格の申し出はあるが、降号はない。

補正 やすらぎ聖苑管理費 245万円の減額

概要：やすらぎ聖苑の火葬業務及び受付業務の委託費について、入札による委託費の確定による減額

Q この金額で推移していくのか。

A 入札で契約するため、この金額で推移していくと考えている。



やすらぎ聖苑

厚生環境常任委員会

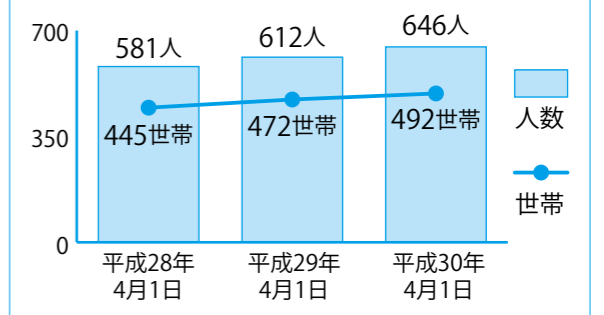
補正 扶助費 2,570万円の増額

概要：生活保護費（医療扶助費）の伸びによる増額

Q 生活保護の受給人数と世帯数は。

A 平成31年1月末現在、受給人数659人、506世帯である。

生活保護の状況



※停止中世帯を除く

建設経済常任委員会

補正 緑越明許費 塩崎駅周辺整備事業 3,391万円の繰越

概要：光ケーブル移設に対する関係機関との調整などにより、平成30年度内での工事完了が困難となり、工事請負費などを翌年度に繰り越すもの。

Q 完成の予定は。

A 10月の完成を予定している。

Q 緑越明許費の詳細は。

A 測量・登記料、光ケーブル移設の工事費、JRからの用地購入、東電の電柱の移設費用などである。



塩崎駅

甲斐市の保育園の現状は

市長 ▶ 待機児童を出さないための対応策を講じている



新政会 伊藤 毅 議員

伊藤 平成31年度入園状況について聞く。

市長 昨年11月に広域入所も含め、受付を実施し、昨年同様、多くの入所希望者があり、特に1歳児においては受入枠を上回るものであった。一部の市立保育園の遊戯室を、保育室として活用し、また、市内私立保育園へも受入枠の拡大を依頼するなど、待機児童を出さないための対応策を講じている。

伊藤 遊戯室を保育室にするととの対応だが、衛生面、安全性、保育士の人数は問題ないか聞く。

子育て健康部長 安全柵の設置や保育に必要な備品等を用意し、衛生面や安全面に配慮し、また増員となる保育士は確保できる体制になっている。

伊藤 出生届時に保育を何歳から希望するか、また希望の保育園はあるか、確認



竜王東保育園

伊藤 より子育てしやすいまちづくりのため、妊娠届時や出生届時でニーズ調査を行っていただきたい。

子育て健康部長 保育園の整備計画や保育士の確保など、需要予測をするためには有効的である。東京都豊島区においては、妊娠届時に保育園入園時期や通園希望地域のニーズ調査を行っている。その結果、効果的な整備計画に役立っている。今後、検討していく。

伊藤 より子育てしやすいまちづくりのため、妊娠届時や出生届時でニーズ調査を行っていただきたい。

竜王中学校南側の市道富竹新田西八幡線改良工事の今後の計画は

市長 ▶ 今後も県と連携し、事業の早期完了に向け取り組んでいきたい



新政会 秋山 照雄 議員

秋山 上八幡自治会内には、道路復員4m未満の道路があるが、拡幅等の改良計画があるか。

市長 具体的な改良計画はないが、自治会から要望を受けた場合は、地元にご協力をいただく中で、道路復員が、4m未満の場合は、4m以上に、4m以上5m未満の場合は、5m以上に拡幅し整備をしている。

秋山 用地を寄附しなければ、拡幅工事をしないという緊縮道路整備ではなく、新たに考えを変え、基盤整備をしていく方向性は考えられないか。

市長 道路施設の老朽化による整備件数も多くあり、これらを効果的、効率的に整備していくには、今後莫大な予算が予想される。今後も自治会からの要望による道路拡幅整備においては、無償寄附によるご協力をお願いしたいと考えている。

秋山 市で土地買収し、拡幅工事を行っていくよう強く要望する。



市道富竹新田西八幡線

秋山 市街化の水路について、慢性的に氾濫する箇所が何箇所あり、その改修計画は。

市長 集中豪雨による道路冠水などの浸水被害は、竜王4地区、敷島1地区、双葉1地区確認されている。竜王地区については、2地区で平成30年度に道路内に浸透枘を6基設置しており、今後設置効果の検証をしていく。敷島地区については、平成30年度に雨水対策調査業務を委託し、その成果に基づき来年度以降計画的に工事を実施していきたいと考えている。双葉地区についても雨水対策調査を予定するなど順次対応していく。

一般質問

ここが聞きたい

一般質問は、行政全般にわたり、議員個人が、執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質することをいいます。

第1回定例会では14人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、13ページから19ページです。なお、議会ホームページで、一般質問の録画を配信していますのでご覧ください。

QRコードはこちら→



甲斐市議会 議会中継 検索

新政会 伊藤 毅 議員 13ページ
①甲斐市の保育園の現状について
②少子高齢化対策について

新政会 秋山 照雄 議員 13ページ
①基盤整備について

2月27日(水)
颯新クラブ 有泉 庸一郎 議員 14ページ
①峡北、峡中、峡南地域の11市町で構成する協議会について
②当市と児童相談所との関わり方について

創政甲斐クラブ 内藤 久歳 議員 14ページ
①平成31年度予算編成について
②児童虐待の根絶を

甲斐市民クラブ 齊藤 芳夫 議員 15ページ
①長期的視点でのまちづくり、まちおこしについて

公明党 加藤 敬徳 議員 15ページ
①子どものSOSを見逃さないために
②避難所としての体育館

2月28日(木)
公明党 金丸 幸司 議員 16ページ
①不育症の周知や患者支援の推進について
②児童生徒への情報モラル教育について

新政会 清水 正二 議員 16ページ
①さらなる子育て支援について

新政会 清水 和弘 議員 17ページ
①認知症対策の現状について
②西八幡剪定枝粉碎処理場について

日本共産党甲斐市議団 谷口 和男 議員 17ページ
①高齢化社会への対応施策の充実を
②国保税滞納世帯への対応について
③市庁舎内での事故対応について

日本共産党甲斐市議団 松井 豊 議員 18ページ
①教職員の異常な長時間労働の早急な是正を
②木質バイオマス発電は地球温暖化対策になりうるのか
③公共施設等総合管理計画(個別計画)の進捗状況について

3月4日(月)
公明党 保坂 芳子 議員 18ページ
①「ゼロ歳・ゼロか月・ゼロ日」の虐待死防止を
②安全で安心な甲斐市を
③マイキープラットフォーム構想推進について

甲斐市民クラブ 金丸 寛 議員 19ページ
①平成31年度の保育園入園希望の状況について

甲斐市民クラブ 横山 洋介 議員 19ページ
①バイオマス産業都市構想について
②山梨県緑化センター跡地活用について

まちづくり、まちおこしに将来展望をどう考えているか

市長 ▶ 第2次甲斐市総合計画に基づき施策を進める

甲斐市民クラブ 齊藤 芳夫 議員



齊藤 山縣大式を祀る山縣神社周辺と、緑化センター跡地活用をセットでまちおこしを。

市長 これら両施設をはじめ、様々な施設と連携による施策の方向性について、検討していく。

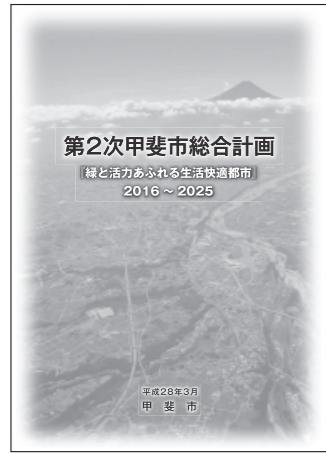
齊藤 田富町敷島線の全線開通による波及効果は、建設産業部長 市内周辺道路の慢性的渋滞緩和や、土地利用による活性化に期待したい。

齊藤 リニア開業までに開通を、市が県に強く働きかけるよう望む。

建設産業部長 リニアへの重要なアクセス道路となる、今後とも県と連携し取り組む。

齊藤 広域ごみ処理施設整備計画は、大詰めで問題があるようだが、現状及び今後の課題は。

市長 現在、ごみ処理施設建設候補地の選定を進めているところであり、中央市内の2か所と南アルプス市



第2次甲斐市総合計画

SNSでの相談事業の導入の見解は

教育長 ▶ 先進事例の成果や課題等を調査していきたい

公明党 加藤 敬徳 議員



加藤 子供の虐待事件やいじめによる自殺などの痛ましい事件の報道が後を絶たない。統計では、自殺者の総数はピーク時より減少傾向だが、19才以下の年齢層では高止まり状態にある。また、自殺動機が不明で、子供が何を悩んで死を選んだのか周囲の者が分からない。これは、子供にとって相談出来る場所が無いという事ではないか。一方、今どきの子供たちは友達とのコミュニケーションも殆どLINEなどのSNSで取るというところで、SNSを使っていじめ相談を行う事業が国の予算を得て始まっている。本市においてもSNSでの相談事業の導入についての見解を問う。

教育長 SNSでの相談事業はまだ課題部分もあり、また都道府県及び政令指定都市が実施主体であることから、国や県の動向を注視し、先進事例の成果や課題等を調査していきたい。



スマートフォンイメージ

加藤 近年、自然災害が相次ぐ中、避難所として使用する体育館であるが、昨年のような猛暑の中では、避難した人たちが健康を害する恐れがある。体育館にもエアコンを設置すべきと思うが、市の見解を問う。

教育部長 本市教育委員会では、学校施設の長寿命化整備の緊急度が高く、設置・運用・維持管理に多額の経費を必要とすること、管理・運用方法の課題もあることから、現時点では導入は考えていない。

11市町で構成するごみ処理広域化推進協議会について聞く

市長 ▶ 新たな一部事務組合の設立に向けて取り組んでいる

颯新クラブ 有泉 庸一郎 議員



有泉 今後どのように事業を進めていくのか。

市長 ごみ処理施設の建設候補地について、11市町が対等な立場からそれぞれ一か所ずつ提案し、中央市内と南アルプス市内の3か所を最終評価候補地として選定したところである。今後の本事業の進め方であるが、一部事務組合を設立するためには、ごみ処理施設の建設地の決定が不可欠であることから、協議会としては候補地の選定を慎重かつ早急に進めることを最優先とする中で、地元住民への丁寧な説明と対応に努めていくこととなっている。

当市と児童相談所との関わり方および、当市の児童虐待の現状について聞く

市長 本市では、深刻化する児童虐待に対応するためには、市町村の援助機能および虐待対応の専門機



子ども虐待防止ポスター

関である児童相談所との連携は不可欠であると考えている。実際に虐待を受けている場合、また虐待を受ける恐れがある家庭への支援で、児童相談所の対応を必要とする案件については、適切な支援ができるよう、連携をもつて対応している。本市が平成29年度に対応した件数は、204件であった。種別ごとの件数は、心理的虐待が96件、育児放棄、いわゆるネグレクトが82件、身体的虐待は26件となっている。なお、平成30年度の新規受理件数は、現時点では48件となっており、虐待の未然防止、早期発見のために、引き続き支援体制の強化を図っていく。

平成31年度予算編成の基本的な考えについて聞く

市長 ▶ 健全財政、限られた財源の効率化を基本に編成した

創政甲斐クラブ 内藤 久歳 議員



内藤 市債の発行状況及び充当事業について聞く。

市長 平成29年度末の発行本数は361本で発行残高は約249億円となっている。平成31年度予算では21億7,970万円の発行を予定し、双葉西保育園建替事業、(仮称)上八幡公園整備事業など17事業に充当する予定である。

内藤 歳入、歳出の財政見通しについて聞く。

市長 歳入の約1/3を占める市税については、人口減少や高齢化社会の到来により生産年齢人口の減少が予想され、普通交付税も平成32年度以降一本算定の交付となり、大幅な増加は期待できない。歳出においては、保育関係経費、介護保険、高齢者医療費等の著しい増加がみられる中、今後高齢化の進行が予想され財政見通しは厳しい状況が見込まれる。

内藤 平成32年度以降、一本算定となった場合の減額見込はどれ位か。

企画政策部長 平成30年度の交付決定額ベースとの差額は約3億円となっており、



昔遊び集会(ゴム跳び)の様子

この額が減額となる見込みである。

児童虐待の根絶を

内藤 平成29年度中に全国210か所の児童相談所が児童虐待として対応した件数は133,778件で対応件数は年々増加している。虐待根絶に向けた市の考えを聞く。

市長 子どもたちの命を守ることを第一優先とし虐待を受けている子どもや支援を必要としている家庭に対して、関係機関で情報や考え方を共有し適切な対応をすることで、次世代への連鎖を断つことが重要であると考えている。

保育園の選考に“AI”を導入してはどうか

市長 ▶ 導入について、調査、研究していきたいと考えている

甲斐市民クラブ 金丸 寛 議員



金丸 保育園の果たす役割が以前にも増して重要になってきている。核家族化により、家庭や地域における子育てに代わる役割も担っている。本市の保育園の状況を聞く。

市長 公立が6園、私立が17園で合計23園となり、定員は公立が907人、私立が1,670人、合計2,577人になる。

金丸 例年、定員はすべて埋まるのか。

子育て健康部長 年齢により利用希望が少ない場合もあり、例年、定員のすべては埋まらない状況である。

金丸 3歳未満児の状況について聞く。

子育て健康部長 市外希望者を含めて496人で、入園が厳しい状況である。1才児は受入枠を超えているが、遊戯室の利用等で現在は全員の受入れができる体制となっている。本市において待機児童はいない。

金丸 選考方法は点数制を採用しているが、多くの時間を要していると思うのでAIの活用を考えたらどうか。

市長 さいたま市での実



保育園の様子

証実験の結果では数秒で終了したというので、導入については情報収集したうえで、調査・研究していきたい。

金丸 労力削減と保護者への対応を深める為にもAI導入を強く要望しておく。

子育て健康部長 無償化の対象は利用者負担分である保育料で、平成30年度で考えると、約1億2千3百万円の新たな負担が生じるがこれは年度により変化する。

金丸 労働環境も整えて安心、安全な保育の継続に努めてほしい。

緑化センター跡地活用について前定例会での市長答弁が従来説明と相違している

市長 ▶ わかりやすく説明しようとしただけで相違はない

甲斐市民クラブ 横山 洋介 議員



横山 ルドウィーテ作品のコレクターの方とはどのような人物か。

企画政策部長 コレクターの方は世界中からルドウィーテ作品などの収集家兼画廊の代表であり、日本ルドウィーテ協会の副代表理事を務めている。昨年度実施したPFI導入可能性調査において唯一市長とも面会した者である。

横山 甲斐市と日本ルドウィーテ協会との関わりは。

企画政策部長 PFI導入可能性調査における民間業者の1者として参画などの話を伺ったところである。

横山 この計画の発端は平成28年12月にルドウィーテ作品を日本ルドウィーテ協会の代表理事から本市へ寄贈されたことから始まっており、私はこの日本ルドウィーテ協会には強い懸念を抱いている。

市長 事業者が「日立造船株式会社」を中心とする事業体となり、発電出力が



日立造船所有の発電所の議員視察の様子

バイオマス産業都市構想の核となる発電事業について当初の計画から大きく異なる点はどこか

横山 日立造船と締結する基本協定書は極めて重要であるが、締結を急ぐ理由とSDGs（持続可能な開発目標）などの取り組みを盛り込むべきと考えるか。

生活環境部長 事業化に対する責任を明確にさせるため締結するものであり、社会的責任を果たすことを前提に選定した企業でもあるため、より一層の取り組みに寄与するものと考えている。

横山 地元を含めより多くの市民にこの事業を理解していただくためにも説明会や類似施設の見学などが必要と考えるが予定はあるのか。

生活環境部長 地元説明会や日立造船所有の発電所の見学会を開催していきたいと考えている。

教職員の異常な長時間労働の早急な是正を

市長 ▶ 多忙化対策検討委員会を設置して取り組んでいる

日本共産党甲斐市議団 松井 豊 議員



松井 年間500時間超と推計される教職員の異常な長時間労働の原因は、①国が学校週休2日制を教員増なしで行い、「ゆとり見直し」でも授業時間を増やした。②不登校、いじめ、貧困と格差への対応を教員増なしで行った。③残業代ゼロの法律が長時間労働を野放しにしたからです。

市長 長時間労働の軽減は大きな課題であり、「教員の多忙化対策検討委員会」を設置するとともに、山梨県市長会では、国及び県に対し、教職員の定数改善や校務支援システムの早期導入に向けて要望活動を行っている。

松井 定数改善（9万人増）は教育予算のGDP比0.1%増で可能（日本2.9%、OECD4.2%）です。

現場に負担を与えている施策（学力テスト・過大な授業時間数・研修等）の見直し状況は。

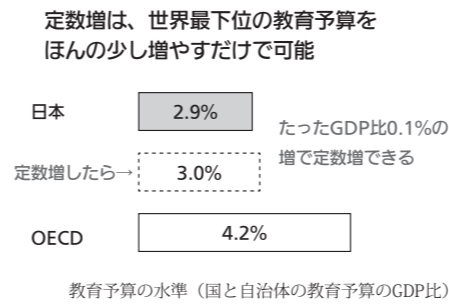
教育長 多忙化改善計画に基づき、調査・報告書・会議の効率化・研修の見直し等の負担軽減を図っている。

松井 木質バイオマス発電成功の最大のネックは、燃料となる木材の安定供給だが、20年間の安定した供給が見込めるのか。

市長 日立造船株式会社では、経産省への認定申請にあたり、林業事業者との燃料安定供給の覚書を基に、調達・使用計画を作成した。

松井 他のバイオマス発電の熱利用（製材乾燥・ウナギ養殖・果樹・野菜の加温等）を参考に、市の施策を拡大すべきでは。

市長 熱エネルギーの有効利用を検討するが、周辺地域外の利用は考えていない。



甲斐市での生後すぐの虐待死の事例があるか

市長 ▶ 本市ではゼロ歳児の虐待死は発生していない

公明党 保坂 芳子 議員



保坂 産科検診が困難な「特定妊婦」への対応は。

子育て健康部長 一般的にゼロ歳児虐待死を引き起こす事例は母子健康手帳の交付を受けていないため妊婦健診も受けず、医療や福祉行政とも接点のないまま出産に至っている状況が多いと報告されている。本市で特定妊婦の相談があった場合は、家庭相談員と健康増進課の保健師を中心に関係機関と連携を図りながら支援につなげている。

保坂 中高生の性教育には、学校・PTA・教育委員会・健康増進課・産科医等が一致して取り組む必要があるのではないか。

教育長 本市小中学校では、学習指導要領に基づき、心身の発育と健康、性感染症等の予防などの知識を身に付けている。また養護教諭や市PTA連絡協議会研修会で市内産科医に講師をお願いするなど連携して性教育の充実に向けて取り組んでいる。



子育て世代包括支援センター

子育て健康部長 市内20園の保育園は飛散防止対策をしている。更に子どもたちの安全第一を考え、未設置に対して対策を推進する。

消費税率引き上げに伴う反動減対策として消費活性化の準備は

市長 平成31年度には、低所得者と子育て世帯向けプレミアム付き商品券事業を予定しており、プロジェクトチームを立ち上げ実施に向け準備を行っている。

特別委員会

積極的に調査・研究します

特別委員会レポート

第1回定例会までに開催された各特別委員会の活動（調査）状況をお知らせします。



バイオマス産業都市構想特別委員会

日付	特別委員会の内容
平成31年 2月 8日	日立造船(株)との基本協定書（案）について
平成31年 3月 4日	甲斐市木質バイオマス発電事業に関する協定書（案）について

山梨県緑化センター跡地活用特別委員会

日付	特別委員会の内容
平成31年 2月12日	山梨県緑化センター跡地活用に伴う事業化支援アドバイザー業務について

議会改革特別委員会

日付	特別委員会の内容
平成30年12月19日	議員の意見聴取結果について報告
平成31年 1月16日	現状の議員定数及び常任委員会数について協議 市民と議会の対話集会開催要領の決定
平成31年 1月31日	市民と議会の対話集会最終協議
平成31年 2月 7日	市民と議会の対話集会開催（下部に関連記事）
平成31年 2月22日	対話集会及び市民アンケートを踏まえた議員の意見聴取について協議 議員活動実日数調査について協議

対話集会 第15回 市民と議会の対話集会

2月7日 場所／竜王北部公民館ホール 参加市民／99人

市議会では、開かれた議会への取り組みとして、もっと市民に身近な議会にしていくため、今年度で6年目となる「市民と議会の対話集会」を開催しました。今回は、「議員定数・議員報酬のあり方について」をテーマに、全市民の方を対象に行いました。対話集会では、議長あいさつ、議員の自己紹介、甲斐市議会の現状及び議会改革特別委員会における調査・検討中間報告を説明した後に、意見交換を行いました。

参加者の発言による主な意見（要旨）

【議員定数について】

- ・同じ規模の他市と比較して定数は適当である。
- ・議員定数を削減してしまうと、市民と議員が相談できる機会が減ってしまう。
- ・人口が増えているのに議員定数を削減するという論理は成り立たない。
- ・議会改革は、定数削減ではなく、政策立案力など議会力を向上させるものである。
- ・高齢者問題、子育て問題など様々な問題を解決していくためには、今の議員定数では足りないと思う。

【議員報酬について】

- ・同じ規模の他市と比較して報酬は適当である。
- ・本会議の傍聴席が満席になるような、もっと市民のための議会になれば、市民も報酬増額について受け入れられると思う。
- ・報酬を増額し、魅力ある議会にすることで、市議会議員の立候補者を増やすべきである。

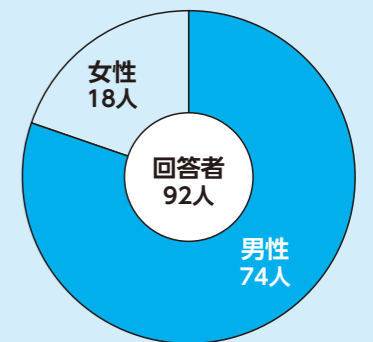


アンケート結果

会場において、アンケート調査を行いました。
この調査結果は、今後の議会改革特別委員会での貴重な基礎資料として活用させていただきます。

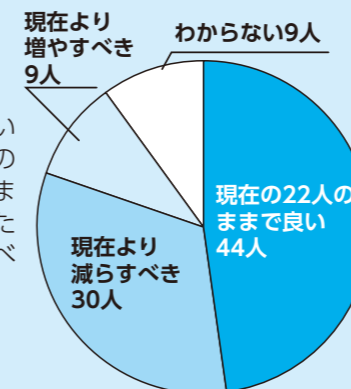
回答者の性別・年代

回答者92人のうち、74人が男性、18人が女性でした。
年代については、60歳以上が76人、50歳代が11人、40歳代より下の世代が5人でした。



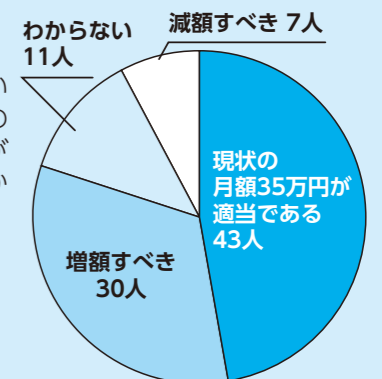
今後の議員定数について

今後の議員定数については、回答が多かったのは、『現在の22人のままで良い』、次に多かったのは『現在より減らすべきだ』でした。



議員報酬について

今後の議員報酬については、回答が多かったのは『現状の月額35万円が適当である』、次に多かったのは『増額すべき』でした。



パブリックコメントを募集します。

議員定数等調査・検討報告書（案）

議会改革特別委員会では、議員定数及び議員報酬の調査・検討を行い、報告書（案）を策定しました。報告書（案）に対するご意見を募集します。
※いずれの方法も、提出期限は、5月30日（木）【必着】です。
意見書の書式は任意ですが、住所、氏名、連絡先を必ずご記入ください。

募集期間	5月10日（金）～5月30日（木）
詳細の閲覧方法	議会ウェブサイト、議会事務局、各支所市民地域課窓口
意見・情報の提出方法	①電子メール gikaishomu@city.kai.yamanashi.jp までご送付ください。 ②FAX 055-276-7260 議会事務局 宛 ③郵送 〒400-0192 甲斐市篠原2610 議会事務局 宛 ④持参 甲斐市議会事務局 又は 各支所市民地域課窓口
問い合わせ	甲斐市議会事務局 055-278-1673（直通）



議会を傍聴してみませんか!

手続きは簡単です。
本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。
議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。



平成31年 第2回定例会の日程（予定）

※日程等に変更がある場合もあります
※お気軽にお越しください。

※傍聴に際し、手話通訳が必要な方は、福祉課へお申込みください。

TEL 055-278-1691 FAX 055-276-2113

日	月	火	水	木	金	土
6月2日	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14 午前10時～ 本会議（議案上程等）	15
16	17 午前10時～ 本会議（一般質問）	18 午前10時～ 本会議（一般質問）	19 午前9時30分～ 建設経済常任委員会 午後1時30分～ 厚生環境常任委員会	20 午前9時30分～ 総務教育常任委員会	21	22
23	24 午後3時～ 本会議（採決等）	25	26	27	28	29

詳しくは

市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。
TEL (055) 278-1673
ホームページアドレス
<http://www.kai-shigikai.jp>

甲斐市議会
検索
甲斐市議会
検索してください



編集後記

議会だよりをお読みいただきありがとうございます。第1回定例会を終え、予算審査特別委員会を経て、市の今年度の予算も可決され、新年度がスタート致しました。
議会だより編集委員会では正確で読みやすい議会だよりを目指し、編集を重ねておりますが、この度、全委員の賛同により、リニューアルに向け、方向性を検討して行くことになり、一層、皆様に愛読していただけますよう、委員全員で研鑽を積んでまいります。
今後とも、ご意見、ご感想をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

【小澤 重則 委員長 記】

委員会視察研修レポート

調査研究へ 先進事例を学ぶ

議会運営委員会では、1月22・23日に、議会広報常任委員会では、1月29・30日に視察研修を行いました。委員長による視察研修のレポートをお知らせします。

議会運営委員会

市民に開かれた、負託に応えられる議会

委員長 斉藤 芳夫

今回は、議会運営の先進地である、所沢市議会と、甲斐市議会の災害対策本部設置規定の参考に、北茨城市議会を視察研修しました。
所沢市議会は、議会基本条例が平成21年に制定されており、条例制定までの経緯と、その後の運用状況、問題点の検証などが、参考になるとの思いが目的でありました。所沢市議会でも制定後何度か見直し改訂されているが、市民の皆様が開かれたわかりやすい議会、負託に応えられる議会を目指し、全力で取り組んで行くとの事であった。

翌日の北茨城市議会では、主に、議会災害対策本部

の役割などについて研修しました。平成22年に、議会災害対策本部設置規定を定め、1年後に東日本大震災を経験されていることで、災害時の避難誘導、避難所での対応、その後の復興事業への取り組み事例などを学んできました。

視察を終えて

どちらの研修も私たちの議会では、今後の課題であります。最も大事なことは首長の決断の速さと、議会の協力体制の重要性であり、今後もしっかり取り組まなければとの思いを強くしました。



議会基本条例を学ぶ



北茨城市議会議場にて

議会広報常任委員会

議会だより編集・作成の研究

委員長 五味 武彦

埼玉県寄居町の議会広報誌「お元気ですか 寄居議会です」は、第33回町村議会広報コンクールで2年連続で最優秀賞（1位）を受賞し、住民の立場に立った企画・構成・編集・デザイン等が評価されたもので、特集と住民登場が重要と考え、町民が数多く登場する企画が特徴となっていました。

東京都あきる野市議会だより「ギカイの時間」は5年前に第8回マニフェスト大賞でリニューアルの取り組みが評価され、優秀賞を受賞。1年間をかけて議会や事務局が丸で大幅に紙面構成を図ったもので、市民への発信やコミュニケーションの活性化のため、市民団体やグループをターゲットに特集を組み、市民の声を掲載し、各ページもゆったり見やすいレイアウトでした。最後に、東京都市ヶ谷の会議録研究所を訪問、最新の議会映像システムや会議録作成・検索システムの研修を行いました。

視察を終えて

本市の議会だよりは減ページを実施したものの、構成自体はほとんど変わっていません。市民と議会をつなぐ最大の媒体の活用をどのようにするか、議会だより編集・作成の研究のため、実施しました。

なお、2月の議会広報常任委員会で委員の広報のリニューアル化について提起しました。この結果、全員が賛成しました。今後どのように進めるのか意見をまとめたいと思います。



議会だよりの作成について学ぶ



あきる野市議会議場にて

市民の声



日々を笑顔に
過ごせたら幸せです。

丸山 昇
[古村区]

議会だよりをご覧の皆様へ、はじめまして丸山昇と申します。現在私は、妻と3人の子供に囲まれて5人家族で甲斐市内に暮らしています。

私は、笛吹市内にあるめん類の製造会社に勤めています。山梨県全ての人にゆかりのある郷土料理の「ほうとう」・「おざら」・「吉田のうどん」の一般家庭用食品、お土産品、贈答品等を製造しています。自社のブランド力と発想力を活かし、近年では、話題沸騰中の笛吹市の新名物「ラーほー」を山梨県内では初めて、一般家庭用向けに開発し、新聞に大きな記事で取上げていただきました。発売以来、多くの方から味の高評価をいただいておりますので、是非一度お召し上がりいただきたいと思っております。【「ラーほー」は、山梨県産のほうとうをラーメンスープで食べる笛吹市の新ソルフードです。】

年を重ねて想う事は、私を育ててくれた甲斐市に何か恩返しができないか…？甲斐市にある特産物と私の会社の製品が科学反応を起こし、新しい形のお土産品や、家庭用品になり、甲斐市から全国に広がり、人の役に立てたら、山梨県人として、甲斐市民として、山梨の食、郷土料理を作る会社の一員として、誇り高く喜びです。今はまだまだその夢の途中ですが…。

いつまでも、夢と目標とほんの少しの勇気を持ち、初心を忘れず、支えてくれる全ての方々に感謝をしながら、愛する家族、大好きな仲間と共に、日々をこの地で笑顔に過ごせたら幸せです。笑顔の中にも時には真顔で一生懸命に。



議会傍聴記

小野 規克
[敷島台]

昨年12月の定例議会で、地区から出ている議員が一般質問をすることもあり、初めて傍聴しましたが、本会議場でのやりとりには引きつけられるものがありました。

地元議員の質問は、住民の安全な生活に直結する迂回道路の建設に関する内容でした。住まいの中心を走っている道路で、朝・夕には1時間に100台前後の通行量があり、速度制限オーバー、騒音に悩まされています。車とバイクの接触事故、ガードパイプへの衝突等の事故も発生しています。必要な迂回道路ですが、市長・行政の答弁は、道路用地の取得、建設費用、瓦窯跡等の問題で建設はノー。納得しなければならないことなのかもしれないが、もっと定量的な説明があっても良かったのかなと思いました。

これからバイオマス発電所、山梨県緑化センター跡地利用の問題など、住民に直結した事柄が具体化されます。市民として関心を持ち続けたいと思います。また、大きな問題として議員定数の事があります。定数削減ありきではなく、議会改革等で必要な議員数にして下さい。

今回の定例議会傍聴は、今後の行政に関心を持ち勉強する良い機会となりました。

有
料
広
告

引越しのお手伝い致します

不用品の買取・回収・販売

★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)

☎0551-28-6262

出張回収にも伺います！お気軽にお電話ください。

仕事承り中

仕事のご依頼はお気軽にお電話でご相談ください

主な仕事内容

- ◆草取り、草刈り、植木の手入れ
- ◆襖・障子・網戸の張り替え
- ◆家事サービス(洗濯、掃除、食事作り、買い物)

会員募集中

健康で働く意欲ある、60歳以上の市内在住者

公益社団法人 峡中広域シルバー人材センター
〒400-0115
山梨県甲斐市篠原 2644-3 ☎055-279-6626

議会広報常任委員会

委員長	五味 武彦	委員	谷口 和男
副委員長	伊藤 毅	委員	小澤 重則
委員	加藤 敬徳	委員	山本 英俊

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)
HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>